

大分地方気象台長からのメッセージ

日頃から大分地方気象台のホームページをご覧ください、ありがとうございます。

近年は地球温暖化の影響もあって、気象現象が局地化、集中化、激甚化してきています。大分県においても、令和4年台風第14号や令和3年8月の大雨、令和2年7月豪雨など、大雨によって各地で甚大な被害が発生しました。

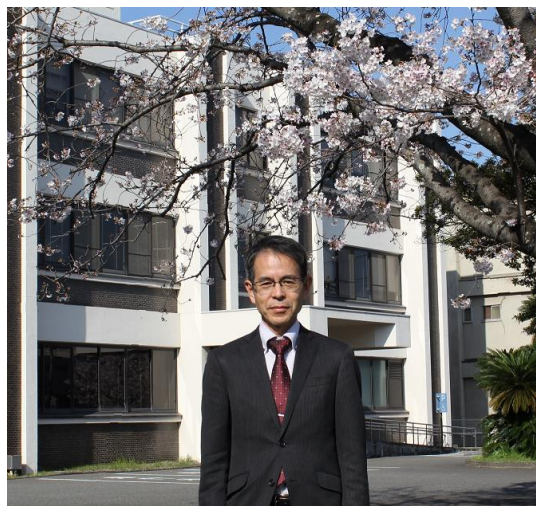
また、県内には、九重山、由布岳、鶴見・伽藍岳という火山が存在し、周囲に多彩な温泉資源をもたらす一方で、ひとたび活動が活発化すれば重大な災害をもたらすおそれがあります。

さらに、南海トラフ地震では、地震や津波による大きな被害が想定されています。

このような自然災害から身を守るためには、市町村から発表される避難情報に従うことはもちろんですが、「自らの命は自らが守る」という意識をもって早めに行動することが大事です。

その手助けとなるよう、気象台は大雨や台風、地震や火山に関する様々な防災情報を発信しています。また、これらの情報を避難行動にどのように活用すればよいのかについても出前講座などを通して普及に努めているところです。

大分地方気象台は、これからも県や市町村などの防災関係機関や報道機関等と連携して、県民の皆様の安全・安心に貢献するため、職員一丸となって地域防災に取り組んでまいります。



令和5年4月 大分地方気象台長 後藤 貴士 (ごとう たかし)